

住宅用下方放出型自動消火装置  
スプリンクラーエース

# 取扱説明書

型 式

S P A - 5

**NDC** 日本ドライケミカル株式会社

# 安全上のご注意

**NDC** 日本ドライケミカル株式会社

このたびは日本ドライケミカルの防災製品を設置していただき、まことに有難うございました。  
この取扱説明書を、熟読のうえ安全に製品をお取扱  
ください。

防災設備は日常使用するものではありませんが、緊急時には確実に機能を発揮しなければなりません。  
そのためには「正しい取扱い」と「日常の維持管理」が重要です。  
又、防災設備は緊急時に火災を検知、消火するための機構上、誤った取扱いをしますと「人的損害」、「物的損害」、「二次災害等」の恐れが想定されます。

従いまして、本設備は知識のない人の取扱いは危険で、訓練した「**管理者の育成**」が必要です。  
防災設備は日常使わないため管理がおろそかになる傾向にありますが、緊急時に確実に役立つよう管理者は「**正しい取扱い**」を習得して「**日常管理**」を行ってください。

1. この取扱説明書は管理者を含め関係者がいつでも利用できるよう管理してください。
2. この取扱説明書の記載内容についての問い合わせは弊社担当部署までご連絡ください。
3. この防災製品に異常が発見された場合や改修等を企画される場合は、弊社担当部署までご連絡ください。  
防災設備の工事は有資格者の消防設備士が行うよう法律で定められております。
4. この防災製品の保守・点検は製品内容を熟知している弊社にご用命ください。
5. この取扱説明書は保証書や契約書ではありません。

本文中に用いた表示記号は次のように区分しております。



## 危険

この表示は防災設備を誤って取扱った場合、死亡又は重症を負う等の重大な人的被害の恐れが想定される事項を示しております。



## 警告

この表示は防災設備を誤って取扱った場合、傷害等の人的被害の恐れや、設備不作動などの機能に致命的な悪影響を及ぼす恐れが想定される事項を示しております。



## 注意

この表示は防災設備を誤って取扱った場合、本設備の機能障害、誤作動、二次災害等の恐れが想定される事項や、本設備の機能維持に必要な注意事項を示しております。

## II. 運搬・保管



### 注意

1. 運搬中は衝撃を与えないように取り扱ってください。  
ノズル部分が壊れ、誤放射する恐れがあります。
2. 保管は温度変化の少ない、0°C～40°C未満の倉庫内に収納してください。  
野積み放置はできません。誤作動の恐れがあります。
3. 運搬・保管時は梱包材に明記した天地を逆にしないでください。消火性能に支障を来す恐れがあります。

## III 設置方法



### 警告

1. 設置場所を良くお確かめください。  
スプリンクラーエースは一般火災（紙・木材等）及び台所火災（天ぷら油火災）用です。ガソリン・灯油のような油火災に対しては効果がありません。
2. 周囲温度が 0°C未満又は 40°Cを越える場所への設置は避けてください。  
不 작동又は誤作動の恐れがあり、薬剤性能も低下します。
3. 本文に記載した設置基準に従って設置してください。  
設置基準を誤ると消火不能となる恐れがあります。



### 注意

1. 粉塵・腐食性ガス等が発生する場所、振動のはげしい場所には設置しないでください。誤放射する恐れがあります。
2. 取付け場所以外の部屋からの出火・延焼、又はスプリンクラーエースの放射能力範囲外の火災には効果がありませんのでその時は消火器等で消火してください。

## V 取付方法



### 警告

1. 取り付けは専用の取付金具を使用し、取扱説明書に記載された方法で取り付けてください。落下により、怪我をする恐れがあります。
2. 天井ボード面には本体を固定しないでください。落下により怪我をする恐れがあります。
3. 感知ノズル・指示圧力計が下向きになるように取付けてください。消火不能となる恐れがあります。
4. 赤色のノズルキャップは取付完了後、必ずとりはずしてください。  
放射不能で消火出来ません。
5. 本体固定用のネジ又は吊ボルトは最後まで確実にねじ込んでください。  
落下により怪我をする恐れがあります。

## VI 取扱い・操作



### 警告

1. 薬剤が眼に入った時は水で充分洗い流してください。  
薬剤を飲み込んでしまった場合、吐出させてください。  
(上記処置後も異常が発生したときは、速やかに医師の診断をあおいでください。)
2. 薬剤が付着した食物は、決して食べないでください。
3. 薬剤が付着した箇所は充分水洗いしてください。

## Ⅶ 日常点検



### 警告

- 1.指示圧力計の針が緑色範囲(0.7~0.98MPa)内から、はずれていたら、点検業者、販売店又は弊社にご連絡ください。  
圧力が不足すると消火不能になります。
- 2.感知ノズル部分に油・ほこり・結露による水滴等が多量に付着したら、柔らかい布等で軽くふき取ってください。  
火災の感知が遅れ、火災拡大の恐れがあります。



### 注意

感知ノズル及び圧力計に衝撃を与えたり、取り外したりしないでください。  
誤放射及び圧力洩れの恐れがあります。

## Ⅷ 改修・廃棄



### 注意

- 1.本装置を設置してある部屋の用途または間仕切りの変更の際は、点検業者または販売店にご相談ください。
- 2.有効期限を過ぎたり、本装置を使用された場合は、点検業者または販売店に依頼して速やかに新しいものにお買い換えください。
- 3.回収、廃棄の際は専門業者または本書に記載の電話番号にお問い合わせください。

## 目 次

1. 概 要	2 頁
1. 仕 様	2 頁
2. 特 長	2 頁
3. 構 成	3 頁
2. 運搬・保管	3 頁
3. 設置方法	3 頁
1. 設置基準	4 頁
4. 放射パターン図	5 頁
5. 取付方法	5 頁
1. 露出型	6 頁
2. 埋込型	7 頁
3. 埋込型（天井内が木造の場合）	8 頁
6. 取扱い・操作	9 頁
1. 火災時	9 頁
2. 放射後の処理	9 頁
7. 日常点検	9 頁
8. 改修・廃棄	10 頁

## 1. 概要

SPA-5型スプリンクラーエースは、各種店舗・倉庫（危険物は除く）及び、住宅・ホテル福祉施設・病院等に設置される簡易自動消火装置です。火災発生時、感知ノズルが自動的に素早く感熱開放して消火薬剤を放射し、初期の火災を消火します。

スプリンクラーエースの消火薬剤は、独自に開発した浸潤剤を使用しており、消火能力に優れた中性薬剤です。

SPA-5型スプリンクラーエースは、住宅用下方放出型自動消火装置として、(財)日本消防設備安全センターによる性能評定を受けたものです。

尚、消防庁で進めている住宅用防災機器等推奨制度における住宅防火安心マーク（推奨マーク）の使用承認も得ております。

## 1.仕様

型式記号	SPA-5	
型式番号	評14-001号	
推奨マーク認定番号	住推9-010	
消火薬剤	第3種浸潤剤等入水5L	
感知部	易融性金属型（低融点合金）	
感知温度	72℃	
常用圧力	0.7～0.98MPa	
使用温度範囲	0℃～40℃	
放射時間	11秒	
消火対象物	一般火災（A火災）	台所火災（天ぷら油火災）
公称防護面積	5㎡	3㎡
総質量	約8.7kg	

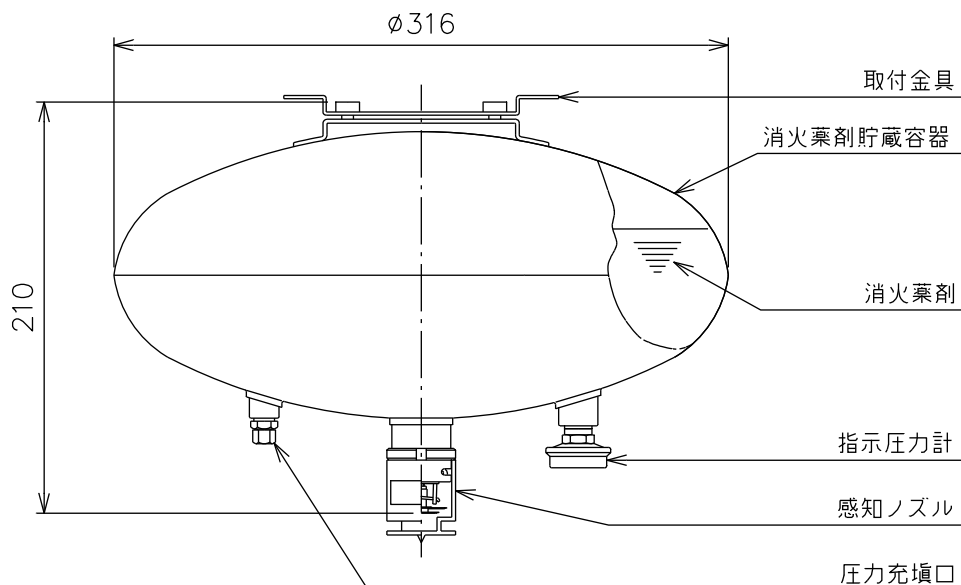
## 2.特長

- 1) 感知ノズルは、作動開放が確実で、信頼性のあるものです。
- 2) 感知部に低融点合金を使用し、集熱板を二枚にしたことで、感熱性能に優れています。
- 3) 保守点検は、指示圧力計が付いているので簡単です。

### 3. 構成

SPA-5型スプリンクラーエースは、消火薬剤貯蔵容器・消火薬剤・感知ノズル・指示圧力計等で構成されています。

常時、貯蔵容器内には消火薬剤5Lが入り、常用圧力0.7～0.98MPaにより、火災非常時に備え警戒状態を保っています。



### 2. 運搬・保管

#### ⚠ 注意

- 運搬中は衝撃を与えないように取り扱ってください。  
ノズル部分が壊れ、誤放射する恐れがあります。
- 保管は温度変化の少なく、0℃～40℃未満の倉庫内に収納してください。  
野積み放置はできません。誤作動の恐れがあります。
- 運搬・保管時は梱包材に明記した天地を逆にしないでください。消火性能に支障を来す恐れがあります。

### 3. 設置方法

#### ⚠ 警告

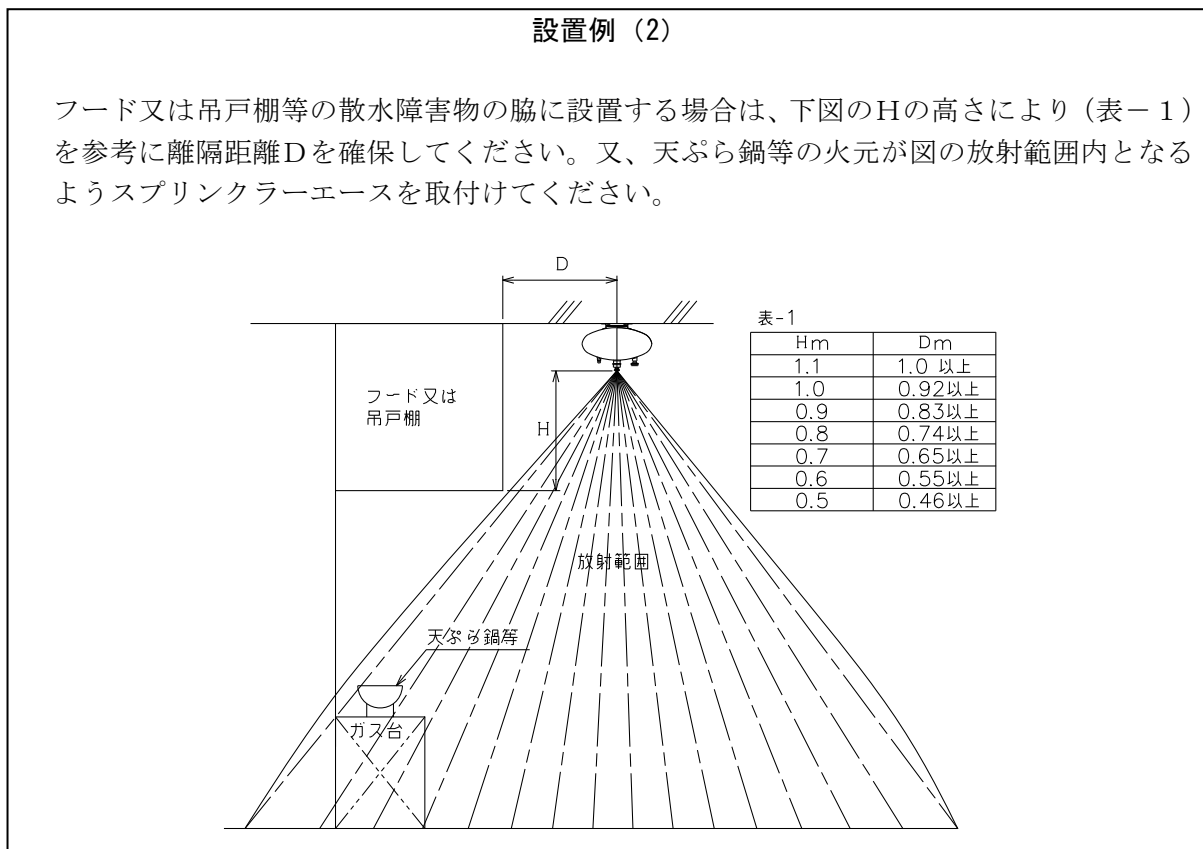
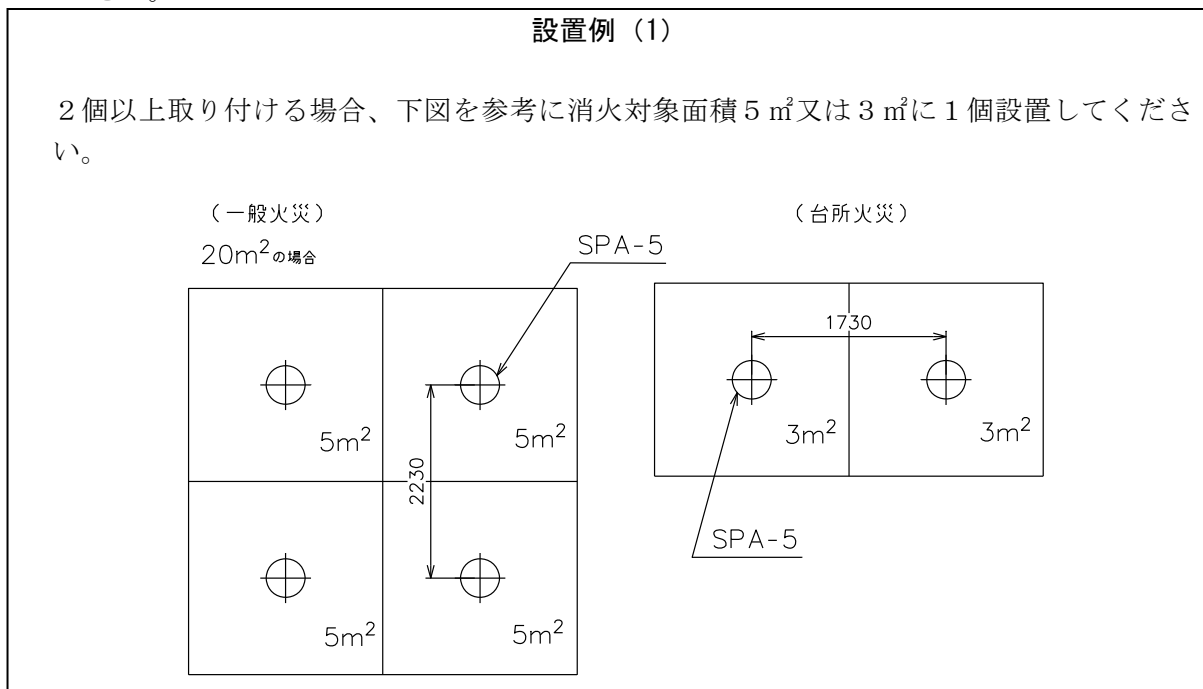
- 設置場所を良くお確かめください。  
スプリンクラーエースは一般火災(紙・木材等)及び台所火災(天ぷら油火災)用です。ガソリン・灯油のような油火災に対しては効果がありません。
- 周囲温度が0℃未満又は40℃を越える場所への設置は避けてください。  
不作動又は誤作動の恐れがあり、薬剤性能も低下します。
- 本文に記載した設置基準に従って設置してください。  
設置基準を誤ると消火不能となる恐れがあります。

#### ⚠ 注意

- 粉塵・腐食性ガス等が発生する場所、振動のはげしい場所には設置しないでください。誤放射する恐れがあります。
- 取付け場所以外の部屋からの出火・延焼、又はスプリンクラーエースの放射能力範囲外の火災には効果がないのでその時は消火器等で消火してください。

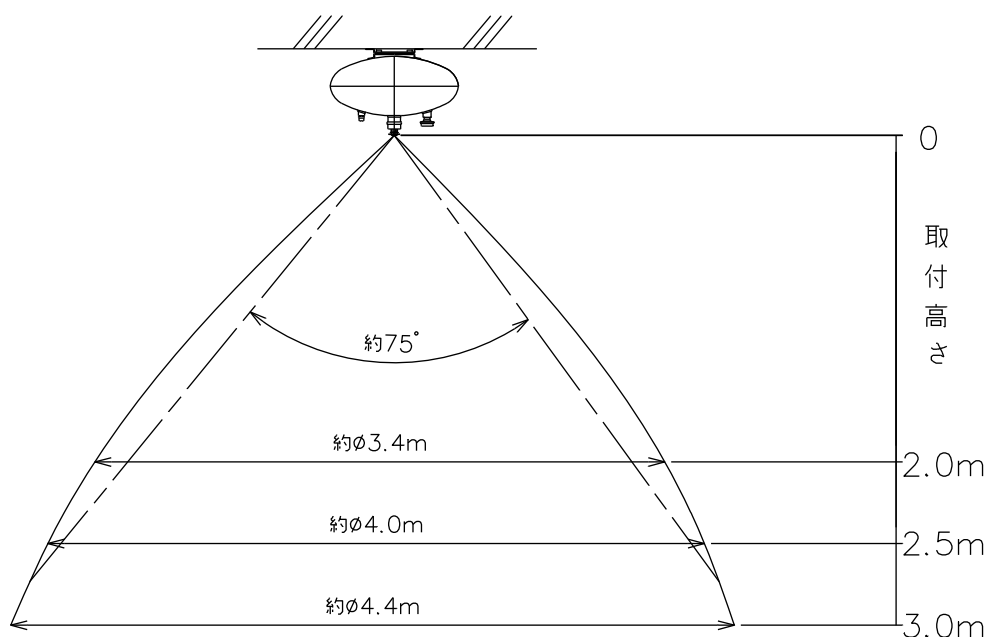
### 1. 設置基準

- 1) スプリンクラーエース 1 台当りの防護面積は一般火災で 5 m<sup>2</sup>、台所火災で 3 m<sup>2</sup>です。  
1 防護区画の中心部へ取り付けてください。
- 2) 2 台以上設置する場合は設置例(1)を参考に、スプリンクラーエース相互間の距離を確保してください。
- 3) 換気扇や小窓の多い部屋に設置する場合は、換気扇又は小窓から 1 m 以上離して設置してください。
- 4) 取付高さは感知ノズル部分が、床面から 2m 以上 3m 以下となるように設置してください。
- 5) 台所等に設置する場合は設置例(2)を参考に、フード又は吊戸棚からの距離 D を確保してください。





#### 4. 放射パターン図



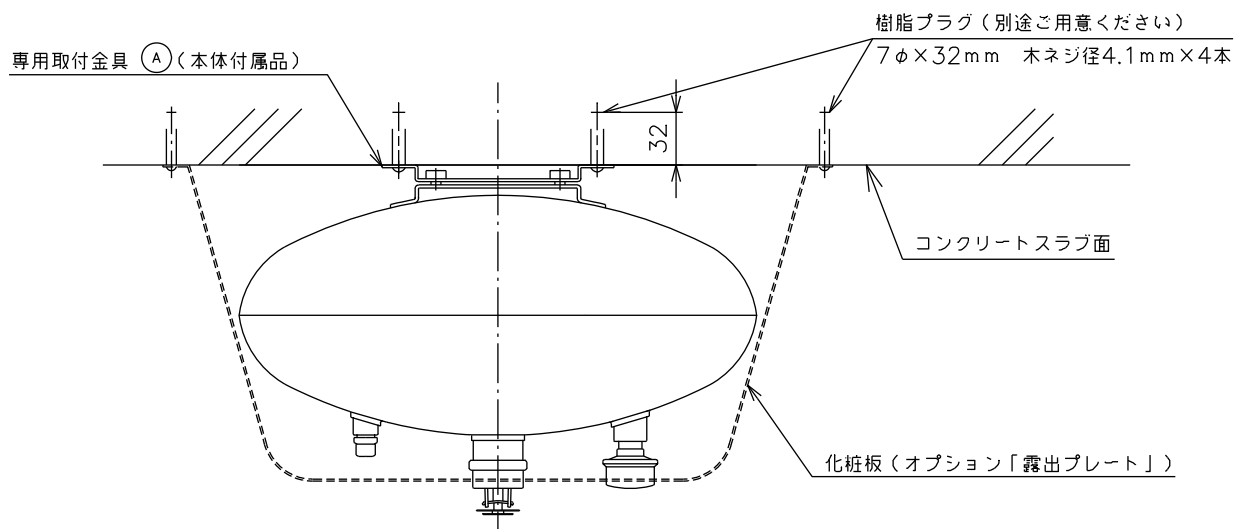
#### 5. 取付方法

##### 警告

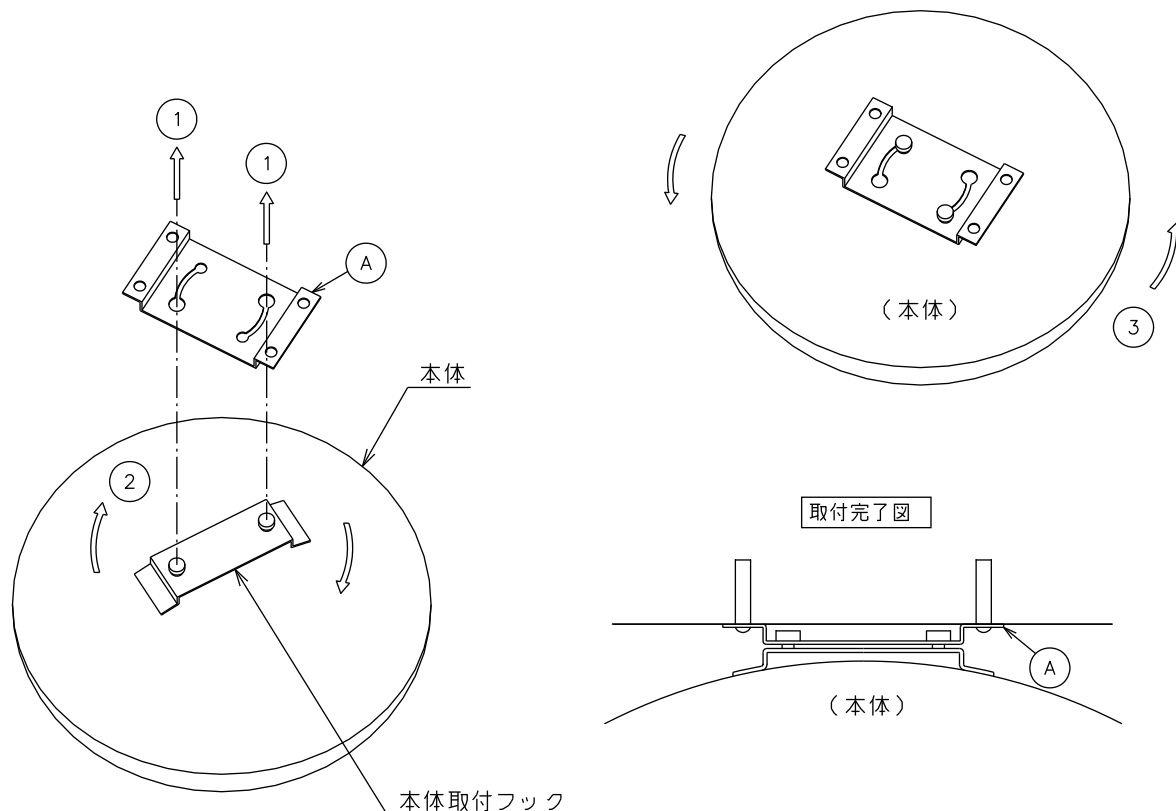
1. 取り付けは専用の取付金具を使用し、取扱説明書に記載された方法で取り付けてください。落下により、怪我をする恐れがあります。
2. 天井ボード面には本体を固定しないでください。落下により怪我をする恐れがあります。
3. 感知ノズル・指示圧力計が下向きになるように取付けてください。消火不能となる恐れがあります。
4. 赤色のノズルキャップは取付完了後、必ずとりはずしてください。  
放射不能で消火出来ません。
5. 本体固定用のネジ又は吊ボルトは最後まで確実にねじ込んでください。  
落下により怪我をする恐れがあります。

## 1. 露出型

本体固定用木ネジは、最後まで確実にねじ込んでください。

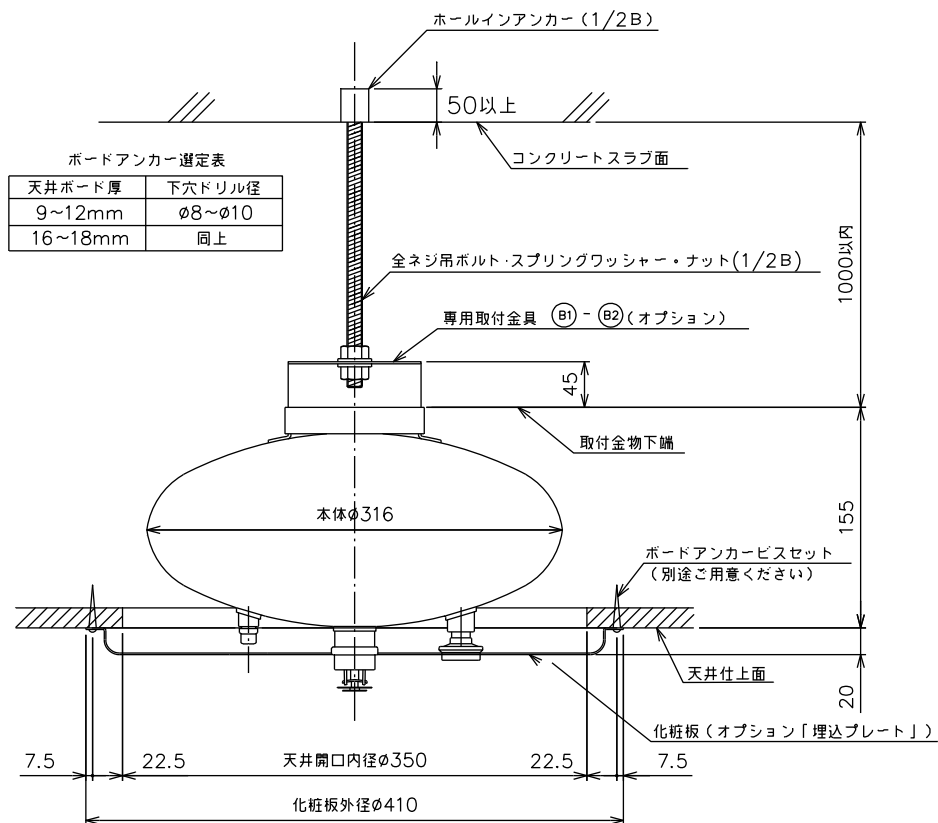


- ①専用取付金具④の2ヵ所の穴に本体取付フックを差し込む。
- ②本体を下に引きながら時計方向に回し、1段下がる位置にする。
- ③反時計方向に戻しても本体が動かなければ取付完了。  
※化粧板を取り付ける場合は樹脂プラグを使用し、4ヵ所固定してください。

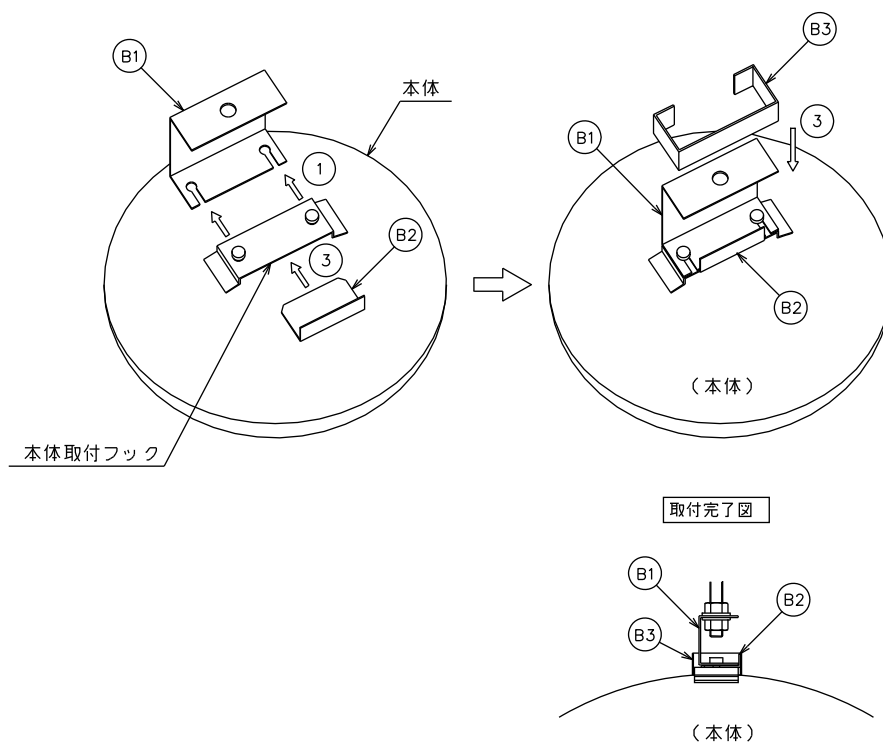


## 2. 埋込型

本体固定用の吊りボルトは、最後まで確実にネジ込んでください。

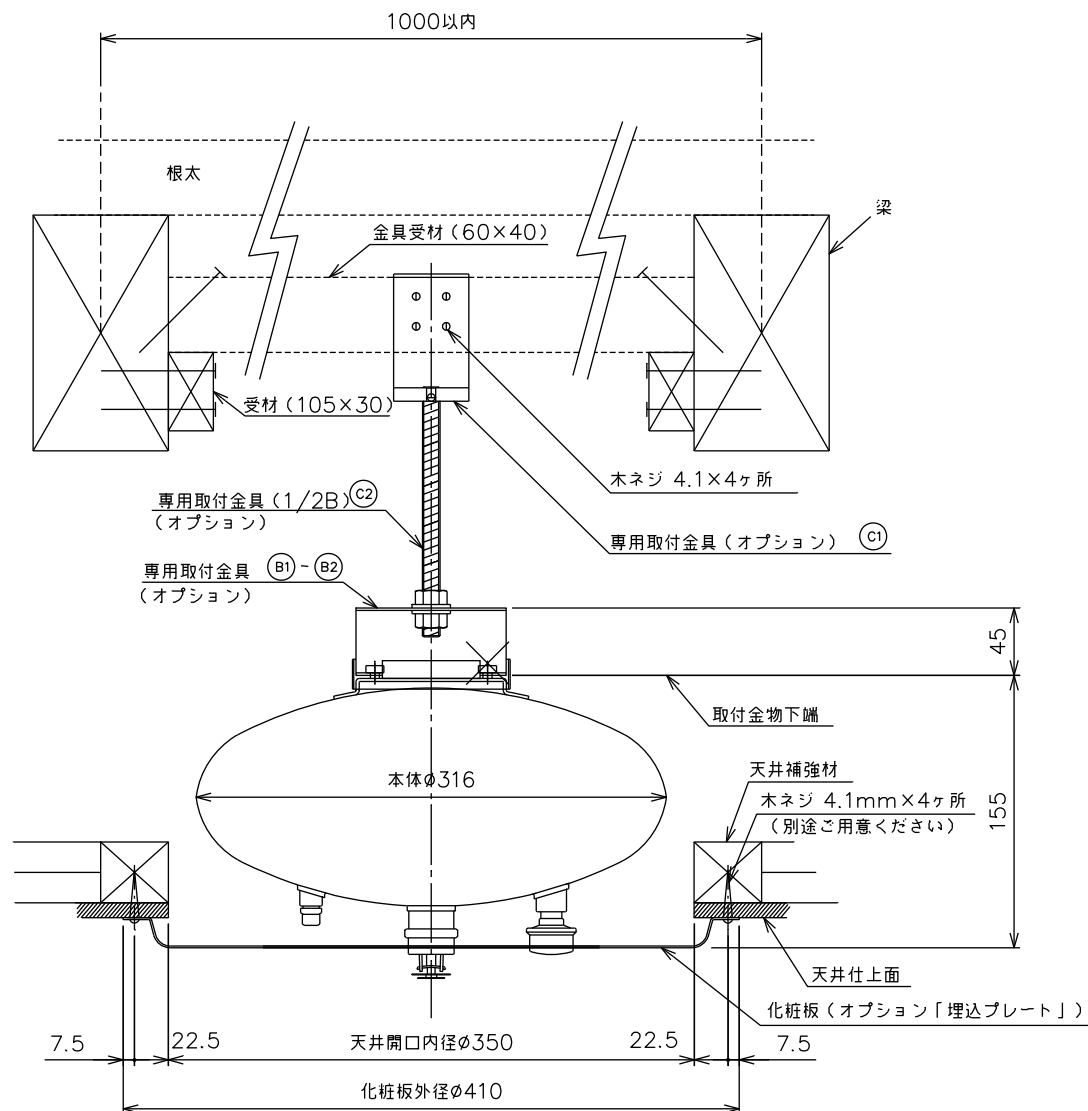


- ① 専用取付金具<sup>㊸</sup>の2ヵ所の穴に本体取付フックを挿入する。
- ② 本体を下に引きながら1段下がる位置にする。
- ③ 専用取付金具<sup>㊸</sup>を<sup>㊸</sup>と本体フックの間に挿入し固定する。  
専用金具<sup>㊹</sup>を<sup>㊸</sup>の上から<sup>㊹</sup>を内側にして差込む。
- ④ 化粧板を取付ける。



### 3. 埋込型（天井内が木造の場合）

- ① 根太に直接固定はしないでください。
- ② 金具受材（60×40）は梁に両端固定し、図の如く、受材（105×30）で補強してください。
- ③ 専用取付金具③の取付けは、木ネジの4.1mm×25mm以上のもので必ず4カ所固定してください。
- ④ 専用取付金具⑥部への本体取付方法は前頁と同様です。



## 6. 取扱い・操作

### 1. 火災時

自動的に火災熱を感知し、ノズルより消火薬剤を放射します。

### 2. 放射後の処理

#### 警告

1. 薬剤が眼に入った時は水で充分洗い流してください。  
薬剤を飲み込んでしまった場合、吐出させてください。  
(上記処置後も異常が発生したときは、速やかに医師の診断をあおいでください。)
2. 薬剤が付着した食物は、決して食べないでください。
3. 薬剤が付着した箇所は充分水洗いしてください。

点検業者、販売店又は弊社に連絡し、放射したスプリンクラーエースを交換してください。

## 7. 日常点検

(1) スプリンクラーエースが火災時、有効に作動する為に1ヵ月に1回程度、下記の点検を行なってください。

- ① 指示圧力計の針が緑色範囲にあるか。
- ② 感知ノズル部分に油・ほこり等が多量に付着していないか。
- ③ 感知ノズル・指示圧力計が変形していないか。
- ④ 感知ノズル・指示圧力計から薬剤が漏れていないか。

点検で異常があった場合は点検業者、販売店又は弊社に連絡し、くわしい点検を依頼してください。

(2) 設置後長期間使用していると、定期点検を実施していても性能・機能、製品強度等が懸念されます。製品の耐用年数は維持管理の状態によって異なり一概には言えませんが、通常の状態に維持管理された場合、安全を考慮し設置後8年を製品交換の目安としてください。

#### 警告

1. 指示圧力計の針が緑色範囲(0.7~0.98MPa)内から、はずれていたら、点検業者、販売店又は弊社にご連絡ください。  
圧力が不足すると消火不能になります。
2. 感知ノズル部分に油・ほこり・結露による水滴等が多量に付着したら、柔らかい布等で軽くふき取ってください。  
火災の感知が遅れ、火災拡大の恐れがあります。

#### 注意

感知ノズル及び圧力計に衝撃を与えたり、取り外したりしないでください。  
誤放射及び圧力洩れの恐れがあります。

## 8. 改修・廃棄


**注意**

1. 本装置を設置してある部屋の用途または間仕切りの変更の際は、点検業者または販売店にご相談ください。
2. 有効期限を過ぎたり、本装置を使用された場合は、点検業者または販売店に依頼して速やかに新しいものにお買い換えください。
3. 回収、廃棄の際は専門業者または本書に記載の電話番号にお問い合わせください。

本装置を設置してある部屋の用途又は間仕切りの変更の際は、点検業者、販売店又は弊社に連絡してください。

本装置についての御問合せは

## **NDC** 日本ドライケミカル株式会社

消火装置に関するご質問や不明な点は、お近くの販売店、又は当社支店、営業所にご相談ください。

○正しく維持管理がなされ、使用法に従って使用したにもかかわらず、品質上の不具合により機能しなかった場合は、新しい消火装置にお取替えするか、無料で修理をお受け致します。それ以外の補償、賠償はご容赦願います。

○消火できなかった場合の火災の損害等についての補償、賠償はご容赦願います。

### ご相談窓口

営業本部 TEL 0120(606)178			
札幌支店	TEL 011(823)6770	福島営業所	TEL 024(531)9401
東北支店	TEL 022(224)1061	水戸営業所	TEL 029(231)1612
関東支店	TEL 048(647)0571	千葉営業所	TEL 043(246)1356
本社営業部	TEL 03(3599)9512	新潟営業所	TEL 025(286)6116
北陸支店	TEL 076(260)0631	静岡営業所	TEL 054(238)5444
名古屋支店	TEL 052(202)1261	四日市営業所	TEL 059(351)2400
大阪支店	TEL 06(6399)3344	広島営業所	TEL 082(293)7870
九州支店	TEL 092(283)6333	四国営業所	TEL 087(835)3911
		沖縄営業所	TEL 098(893)5435

●お問い合わせ先